

令和6年度 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和7年 3月 18日

綾瀬市立もみの木園

保護者等数

26名

回収数

22

割合

84.6%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	38.5%	38.5%		7.7%	・仮説園舎のため十分とはいえない。 ・園庭がもう少し広くて運動出来たら良い。 ・遊戯室が狭い。 ・行事の時のスペースが不十分。 ・新園舎に期待。	・限られたスペース(基準)での最大限の大きさを確保しています。 ・行事や活動内容は今後も工夫しながら進めていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	80.8%			3.8%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	76.9%	7.7%				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちに合わせた空間になっているか	84.6%					
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	84.6%					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	76.9%			7.7%	・細かく伝えてもらっている。	・各担任はガイドラインや支援プログラムを参考に、個々の成長にそくした項目を抜粋して作成しています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	73.1%	3.8%		7.7%	・勉強面を増やしてほしい。 ・日常的に見学ができるわけではないので、支援内容の確認ができない。	・自立支援会議を個々に合ったものを提供し、日々行っています。 ・園への見学はいつでも可能です。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	73.1%			11.5%	・毎日いろいろなことをしている様子うかがえる。	・繰り返して身につくもの、新しい事で快の刺激を経験できるものを取り入れています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	9	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	57.7%	15.4%	3.8%	7.7%	・保育園に行くのを楽しみにしている。 ・交流している様子が、もう少し保護者に開示されると良い。	・今後も他事業所や保育園等との交流を予定しています。 ・様子の開示については情報の流出に充分注意しつつ進めて参ります。
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	76.9%	3.8%		3.8%	・各家庭に合った、放課後デイサービスのアドバイスをしてほしい。	・センター業務として、時期や内容など慎重かつ必要に応じて対応して参ります。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	73.1%			11.5%		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	57.7%	11.5%	3.8%	11.5%	・頻度が少ない。 ・入園してすぐに参加したおかげで、他の保護者の人たちと話すことができた。	・順次お声掛けさせて頂き実施しております。頻度等に関しては、検討して参ります。
	13	日頃からの子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	76.9%	3.8%		3.8%		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	73.1%	3.8%	3.8%	3.8%	・毎月のように内科検診・療育相談などがある。	・いつでも対応できるよう体制を整えています。お声掛けください。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	69.2%	3.8%	3.8%	7.7%		
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	69.2%		3.8%	11.5%	・利用したことがなくても、壁などに情報が掲示されている。 ・育児相談したものの、申し入れた内容がいまだに対応されていない。	・個別対応については、相互間の対話で解決を目指しています。過不足に関しては都度対応して参ります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	76.9%	3.8%		3.8%		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18	定期的に、会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	73.1%	3.8%		7.7%	・ホームページでの情報が充実するとよい。	・定期的に発信していく予定です。
	19	個人情報の取扱いに十分に注意されているか	69.2%	3.8%		11.5%	・SNSにもみの木園の情報がのっている。(個人的SNS)	・個人の常識にまかせています。誤情報に惑わされず、安全に配慮して参ります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	73.1%	11.5%			・訓練のおかげで、地震が起きた時素早くテーブルの下に避難でき、落ち着いていられる。 ・訓練の実施は周知しているが、マニュアル等の周知・説明がない。	・各マニュアルについてはホームページに記載しております。ご確認ください。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80.8%			3.8%		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	69.2%	7.7%		7.7%	・毎日通園を楽しみに通っている。 ・園に長時間居たいようです。	・子どもたちが安全に安心して過ごせる場にしていくことに、全力で努めます。
	23	事業所の支援に満足しているか	73.1%	3.8%	3.8%	3.8%	・毎日通園を楽しみにしている。 ・走り回れる広さが欲しいです。 ・外遊び用の遊具が欲しいです。	・仮設園舎であることに再度ご理解をいただき、療育内容を工夫して取り組んで参ります。

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化した環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくするものです。
- ii 「児童発達支援」は児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。